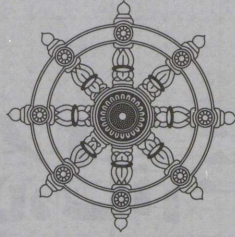


1961年1月16日第3種郵便物認可 1997年4月1日 第427号 (毎月1回1日発行1部50円)

(加盟団体関係者の講読料については、負担金に含まれている。)

全



仏

仏暦2540年4月
(1997年)

NO.427



マヤ堂考古学調査によって発見された、
釈尊生誕の地点を示すとされる自然石。

財団 全日本仏教会
法人

JAPAN BUDDHIST FEDERATION

財団創立 40周年記念事業

併せて第37回 全日本仏教徒会議

十月十六日

神戸市で開催へ

全日本仏教会は、今年、財団法人になって四〇年目を迎える。昨年から、これに関する記念事業が検討されてきたが、去る一月二十九日の理事会・評議員会を経て、次のような「財団創立四〇周年記念事業並びに第三七回全日本仏教徒会議」の大綱が決定され、実施のための運営委員会が設置された。

◎期日 平成九年一〇月一六日（木）

◎会場 兵庫県立文化体育館（神戸市）

◎主催 全日本仏教会

◎予算 約二八〇〇万円

◎事業 阪神・淡路大震災物故者追悼法要、

記念式典（講演、シンポジウム、

清興）、墨蹟展、記念誌出版、慰

霊追悼碑建立、等々

◎開催主旨

全日本仏教会は一九五七（昭和三二）年、財団法人として発足し、伝統仏教の主要な六〇宗派、都道府県仏教会、各種団体を網羅して、仏陀の和の精神を基調とする、全一仏教運動を展開してまいりました。戦後社会にお

ける、急激な科学技術の進展によって、人々は物質的な豊かさと平和を享受し、繁栄があったかも永遠に続くかのような錯覚に陥っておりました。しかし、一昨年の阪神・淡路大震災は、そうした夢を、無残にも打ち壊したのです。現代都市文明の象徴ともいべき高速道路やビルが、一瞬にして崩壊し、多数の尊い人命が失われました。誰も予期し得なかつた自然災害の前で、人の命の危うさ、明日の世の不確かさという、娑婆世界の真相が明らかになりました。私たちは「常あるもの無し」という釈尊のみ教えが真実であることを、再び説き示されたのです。一方、被災地では、多くの仏教関係者が、震災直後から自主的・主体的にボランティアとして救援活動に取り組み始めました。これは、仏教における慈悲の精神が具現化した菩薩行といえましょう。こうした活動の背景には、以前からさまざまな形で、海外援助活動等を行って来た仏教系諸団体の経験と実績があります。さて今日、一般社会の仏教教団を見る目には、大変厳し



第2回運営委員会（3月3日、於 明照会館）

いものがあるのではないでしようか。伝統仏教が今の世に、生き生きと再生するためには、私たち自身が、何を求められているのか、もう一度顧みなくてはなりません。そうした時、救援活動の積極的な推進が、欠くことが出来ないことに気づかされます。本会は、まもなく財団創立四〇年の節目を迎え、これを記念して第三七回全日本仏教徒会議を開催します。記念大会においては、阪神・淡路大震災によって明らかにされた、近代文明の危うさ、生死の無常を深く心に留めると同時に、「慈悲

の実践」としての仏教救援活動を積極的に展開するよう、広く訴えていきたいと存じます。

◎運営委員会

別記の十九名で構成され、これまでに二回開催された。委員長は小林照宥師、副委員長は白川謙敬、市村隆玄の両師。

運 営 委 員

- 洞外文隆（曹洞宗）
- 北島経昭（浄土真宗本願寺派）
- 岡川秀映（真宗大谷派）
- 近藤正也（浄土宗）
- 渡邊清明（日蓮宗）
- 田岡照遍（高野山真言宗）
- 羽賀文圭（臨済宗妙心寺派）
- 山田俊和（天台宗）
- 小林照宥（真言宗智山派）
- 浅井侃雄（真言宗豊山派）
- 白川謙敬（東京都仏教連合会）
- 増田貞圓（大阪府仏教会）
- 市村隆玄（兵庫県仏教会）
- 林恵智子（全日本仏教婦人連盟）
- 水谷栄寛（全日本仏教青年会）
- 逸見道郎（国際仏教興隆協会）
- 村田俊明（神戸市仏教連合会）
- 有馬実成（曹洞宗国際ボランティア会）
- 藤原栄善（高野山真言宗青年教師会）

花まつりポスター

本会ではご覧のポスターを頒布しております。明るい春の野に静かに立って、天と地を指すお釈迦さまのお姿は、見る人のところに安らぎを与えることと思います。地域仏教会、幼稚園・保育園などで広くご利用ください。

- ◎タテ75cm×ヨコ52cm ◎多色刷
- ◎1枚 100円（送料実費ご負担ください）
- ◎なるべく早目にお申し込みください。間際のお申し込みですと4月8日に間に合わないことがあります。

全日本仏教会 花まつりポスター係

* 4月8日はお釈迦さまのお誕生日

花まつり



平成九年度の宗教法人税制はどうなったか

本会顧問弁護士

長谷川 正浩

一、全日仏の要望とそれに対する回答

平成八年一月一日付で、(財)全日仏教会は、白幡憲佑理事長名で自由民主党の政務調査会と組織広報本部に対し、次の四点にわたる要望書を提出した。

① 収益事業を営まない公益法人等の収支計算書提出制度の廃止。

② 公益法人等の預貯金等より生ずる果実に對する非課税制度の堅持。

③ 公益法人等の営む収益事業の範囲の不拡大。

④ 公益法人等の営む収益事業に對する法人税率等の引き下げ及び損金算入限度額の引き上げ。

同じものが同じ与党である新党さきがけに一月八日付で、社民党には一月一三日付でそれぞれ提出された。

これに対し自由民主党は、団体総局長と女性・社会教育・宗教関係団体委員長との連名で、平成九年度税制改正結果について、つ

ぎのように報告してきた。

① 對しては不可。

② 對しては維持する。

③ については触れられていないが、平成九年度の税制改正大綱では要求がとおった形である。

④ 對しては不可。

尚①に關連して、宗教法人について税務署への収支計算書の提出を要しない範囲を、現行の五〇〇〇万円以下を改め八〇〇〇万円以下とした(政令により平成九年一月一日施行)。

二、収支計算書の税務署への提出制度について

この制度は平成七年十二月五日の政府税調の答申で出されたもので、このときには五〇〇〇万円以下の年間収入のある公益法人は、提出を免除されていた。この五〇〇〇万円以下という数字は、同じ平成七年十二月一日に公布された改正宗教法人法で、収支計算書の作成義務が免除される宗教法人が年間収入

五〇〇〇万円以下という、政府与党三党(自由民主党・日本社会党・新党さきがけ)の合意と一致していた。

ところが後者は平成八年四月二六日の宗教法人審議会での結果を踏まえ、年間収入八〇〇〇万円以下に引き上げられてしまった。その結果、税法と宗教法人法に不整合が生まれてしまったのである。

当時の亀井静香組織広報本部長は白幡理事長に収支計算書の税務署への提出制度そのものを検討し直すと約束をしたのであるが(全仏誌第四二一号参照)、提出制度そのものの廃止には至らず、宗教法人に對して、宗教法人法上の収支計算書免除基準に合わせて税法上も八〇〇〇万円以下とするにとどまった。

この制度に對しては、④免税制度ではなく非課税制を取る現行公益法人税制と相容れないとか、⑤申告義務のない法人に収支計算書の提出義務を課すのは申告納税制度に矛盾するとか、⑥税務署が収支計算書をチェックすることは宗教活動自体を国家が検討の対象にすることで憲法の趣旨に反するとかいった批判がある。

これに對し、大蔵省主税局長は、⑤この制度は公益法人課税の適正化を図るためのもの(筆者注、収益事業をやっていないと思つて申告しない法人であっても、収益事業収入が



長谷川正浩弁護士

あるかも知れないからそれを検討するためである。④憲法上の問題については、(労働組合の労働基本権、団結権に関連して)公益法人等については特典があるから、特典をもっている公益法人に収支計算書を提出させても憲法に違反するとは考えていないと、平成八年三月二十一日の参議院の予算委員会では答弁している。

収益事業を行っている公益法人は、法人税の申告の際、公益活動部門の収支計算書等も添付することとされているが、これは通達であるから(法人税基本通達一五―一四)、納税者を拘束しない。従って収益事業を行っていても公益法人は公益部門の収支計算書を提出する法的義務を負わない。しかし年間収入五〇〇万円(宗教法人は八〇〇万円)を超える公益法人が収支計算書を提出する義務があるとされているのは租税特別措置法(第六八条の六)という法律であるから納税

者はこれに拘束される。収益事業をしている公益法人は収支計算書の提出が自由であり、一定額の年間収入がある公益法人は収益事業をやっていないなくても収支計算書を提出しなければならぬというのはいかにもおかしい。

三、公益法人税制について今後の見とおし

各年度における与党の税制改正大綱によれば公益法人税制に関して次のような記載がある。

①「活動実態をみると事業運営、内部監査体制、財務内容等が不適切；早急にその活動実態を明らかにすること。」、「公益法人等の課税の適正化を図るため、軽減税率、収益事業の範囲、金融収益に対する課税のあり方、収支報告の義務付け範囲の拡大等について、；その他の軽減税率のあり方についても引き続き検討を進める。」(平成六年一二月、自民党、

社会党、さきがけの大綱)

⑥「公益法人：の軽減税率については：基本税率との格差を縮小する方向で検討を進める」(平成七年一二月、前三党の大綱)

⑦「公益法人等に対する課税のあり方については、事業活動等を踏まえ、引き続き検討する。」(平成八年一二月、自由民主党の大綱)

このような大綱の流れをみるに全日本仏教会の要望がおろことは誠に厳しいといわねばならない。要望書における①②③④に対する見とおしを明るくする為には相当の努力を要する。

橋本内閣は増税なき財政再建を決意してそれを実行しようとしている(日経九、二、二七)これが平成一〇年度の政府税調の答申や与党の改正大綱にどのように影響されるか、興味のあるところである。

無料法律相談室

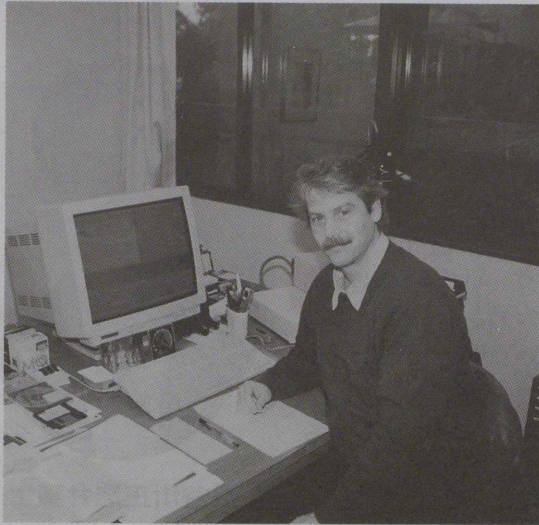
全日本仏教会では、左記の要領で、長谷川正浩弁護士による無料法律相談室を開設しています。相談内容は、寺院運営をめぐる諸問題、税務、一般民事等、ご自由ですが、現在、宗教法人法の改正に伴い、相談件数が増えています。相談をご希望される方は、必ず、電話で予約をお願いいたします。

◆日 時 毎月第二・第四木曜日午後一時～

◆場 所 明照会館(港区芝公園四一七―四)

◆予 約 全日本仏教会事務局(〇三―三四三七―九二七五)

ウルス・アツプ博士



仏教とマルチメディア



電子達磨

花園大学国際禅学研究所

<http://www.ijnet.or.jp/>

iriz/irizhtml/irizhtml.home

今回は、臨済宗妙心寺派の宗門大学である花園大学をお訪ねした。仏典の電子テキストに精力的に取り組んでいる、国際禅学研究所のウルス・アツプ博士にお話をうかがった。

(文責 社会部)

※ ※ ※

：花園大学国際禅学研究所とはどのような組織ですか。

民族や文明の違いを越えて、臨済禅や禅仏教のあり方を考え、人類文化の現在と未来を幅広く探求することを目的としています。開所以来、文献資料の整備、内外の研究機関との情報交換を行い、禅学の基礎づくりと研究者への支援、国際化に力を尽くしています。近年は、「禅知識ベース」をはじめとする、電子ツールの作成にも力を注いでいます。

：「禅知識ベース」とは。

仏教の基礎的な資料や、専門的な禅関係の資料を電子化するものです。最初は禅仏教関係のカナ漢字変換の辞書などを作りましたが、今は『望月仏教大辞典』をベースにした人名を含む、仏教用語全体のカナ漢字変換の辞書などを作る準備をしています。

仏教のテキストは漢字やサンسكريット、チベット語など、様々な言語で作られています。それらを電子テキスト化する際の問題として、それぞれの国によって外字の登録方法

などが異なり読み出せないという問題が生じています。しかし、「HTML」というコンピュータの言語を標準にして、外字を規則正しくコードに置き換えて行けば、機種や国による壁を越えて自由に仏典を電子テキストとして利用することができます。現在、研究所ではこの基礎作業を進めています。

：インターネットに取り組んだきっかけは。

研究所では『禅ベースCD1』という漢文資料のCD-ROMを作成し頒布しています。この内容説明を、上記の「HTML」言語で作成しました。またこの言語は、インターネットで現在標準として使われており、CD-ROMの発行と同時にインターネットにホームページを開設することになりました。

：インターネット利用の長所とは。

インターネット上に資料を置けば、誰もが簡単に検索しコピーすることができます。また、研究資料の改訂も、出版物に比べて簡単に安価に行うことができます。つまりインターネットでは、比較的少額で出版業務がおこなえるのです。この点で、小さな施設や団体の出版の場として非常に有効だと思います。

また、諸外国では日本の本が買える書店は少なく、あっても高価なことが多いのですが、内外の研究者へ質の高いテキストを、無償で提供できる点も有効な特色といえます。

…どのように運営しておられますか。

私（ウルス・アップ）と研究員のミッシェル・モールの二名が担当しています。一般のインターネット接続業者のコンピュータを利用してホームページを開いています。

ホームページを開設した時期が早かったため、アドレス（住所。タイトル参照）が複雑なものになってしまいました。一度アドレスを決めて広報を行うと、あとで変更することは難しくなります。最初の段階で経営のしつかりした接続業者と契約し、簡素なアドレスを取得することが大切だと思います。
…ホームページの構成は。

ニュース的なものや画像や動画など人の目を引くようなものはあまりありません。文献を電子テキスト化し、その可能性を探求することに主眼をおいています。時代を超えて普遍性を持つような、研究資料を豊富に掲載していきたいと考えています。現在の内容は、

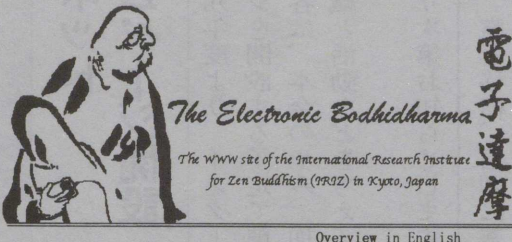
①研究所に関するニュース②研究所の案内と出版情報③禅師の名前リストと世界の禅センターの住所録④電子仏典の入力計画⑤禅師及び禅関係の出版情報⑥電子テキストおよび東アジア諸言語のコンピュータ処理をめぐむ問題⑦禅美術および禅物語などです。タイトルの『電子達磨』は、以前より発行してきた

研究所の機関誌のタイトルを使いました。
…インターネットの問題点とは。

まず「質」に関する問題があります。例えば論文なども、しっかりとした見識のある学者が書いたものも、学生が初めて書いたものも、インターネット上で検索すると両者が区別なく出てきてしまいます。これが出版物であれば、出版社や書店での置き場所である程度判断できるのですが。また、現在、インターネットではホームページの連携先がなくなっても、連携元にはその情報がいつまでも残ってしまいます。

…今後の課題と展望を教えてください。

インターネットを仏教研究に役立てる場合、質の良い情報を検索することのできる索引が重要になるでしょう。そこにはやはり、人間の目が介在してきます。また現在、電子テキストを「仏陀」というキーワードで検索した場合、「ゴータマ」というキーワードを含む項目は落ちてしまいます。内容からも検索することのできる索引を作成することが今後の課題です。活版印刷ができた時は、手書きの模倣にすぎませんでした。今、電子テキストはタイプライターの真似をしている段階ですが、今後様々な利点が見えてくる筈です。また、インターネットを使ったこうした資料の提供にも大きな可能性があると考えています。



電子達磨

Overview in English
インターネットで最大規模の東洋仏典資料を収録

- (1996年 4月24日追加分含む)
- 花園大学国際禅学研究所について
- 禅師および禅センター
- 仏典入力計画 (1996. 4. 24)
- 電子禅籍 (JIS and Big5) (96. 5. 23) NEW
- 禅関係文献情報
- 仏典入力計画 (96. 5. 10)
- 東アジア諸言語のテキスト処理
- 禅美術 (96. 4) NEW
- ソフトウェア・アップデート (1995. 11. 16)

■ 花園大学国際禅学研究所案内と出版情報 (英語)

- 印刷出版物 (英語)
- ソフトウェア著作権情報
- 「禅知識ベース」計画 (英語) およびZenBase_CD 1について (英語)
- 80点以上の電子禅籍 (JIS, Big5) がダウンロード可能 NEW
- 国際禅師禅研究用ソフトウェア・ツール
- 4万8000字を収録した国際禅研「漢字ベース」と関連ツール
- ユニークな禅関係辞書検索ツール (12点の辞書をカバー) (英語)
- 入力ツール (禅語、四角号碼辞書、OCR)
- 国際禅研外字セット、美しいダイアクリティック付き英字フォント
- 漢字コード変換プログラム集

国際禅学研究所ホームページの一部

インターネット

ホームページ開設

本会では、平成九年度より、インターネット上にホームページを開設する予定で準備を進めています。内容は、本会の歩み、加盟団体一覧、現在の組織と活動などを考えています。

今後詳細が決まり次第お知らせします。

三三三 事務局録事 三三三

三月一

三日 記念事業運営委員会

五日 局内会議

十日 日宗連宗教調査特別委員会

十二日 護国寺前貫首本葬義参列

十三日 法律相談室

二十四日 局内会議

日宗連理事会

二十七日 法律相談室

安楽死、脳死、臓器移植、信仰に基づく医療拒否などの問題について、仏教者の立場から取り組み研究を進めている団体に、「臨床的仏教学研究会」（代表、佐藤雅彦師、浄土宗僧侶）がある。

本棚

ビデオ「終わりのない八編の物語」

佐藤師は大正大学総合仏教研究所の研究者でもあり、生命倫理学の先進的な研究機関である、米国ジョージタウン大学ケネディ

倫理学研究所で、客員研究員として二年間の研究生活を過ごした。そこで講義の際に

使われた、生命倫理学の教材ビデオに感銘を受け、帰国後有志と共に翻訳を行って来た。そして、今般「終わりのない八編の物語」として完成し頒布することになった。

ビデオは日本語と英語の両方で視聴でき、

物語の進行とともに、

問題を実際の臨床例に即して学ぶことができる。問い合わせは、丸善出版事業部、電話〇三―五六八四―五六七一まで。

仏旗・バッチ

頒布御案内

大仏旗 たて一四〇cm×よこ二一〇cm

三二、〇〇〇円

中仏旗 たて九〇cm×よこ一三五cm

一八、〇〇〇円

小仏旗 たて七〇cm×よこ一〇〇cm

九、三〇〇円

手旗 たて三五cm×よこ五〇cm

八、〇〇〇円

法輪旗 たて九〇cm×よこ一三五cm

七、四〇〇円

仏旗バッチ 二cm×四・五cm

五〇〇円

法輪バッチ 直径一cm

一、〇〇〇円

お申し込み

全日本仏教会財務部

電話 〇三―三四三七―九二七五

FAX 〇三―三四三七―三二六〇